



アーティスト 富山妙子が語る

私の戦中・戦後、そして福島

2014年

10月4日(土) 13時30分開演

講師

富山 妙子さん (画家/アーティスト)

会場

宮崎公立大学

103大講義室 **入場無料**



対話者

坂元 ひろ子 (一橋大学特任教授/中国近現代思想文化史)

林 弘子 (宮崎公立大学学長/弁護士)

渡邊 英理 (宮崎公立大学准教授/文学・文化研究)

文学カフェ@MMU 的アンソロジー「富山妙子の言葉」
宮崎公立大学日本文学ゼミ学生による群読つき

参加申込み・問い合わせ

電話・FAX・メールにて参加を受け付けています。申し込みの際、住所・氏名・電話番号・人数等をお知らせください。

FAX: 0985-20-4773 E-MAIL: mmu.bungakucafe@gmail.com

TEL: 0985-20-4772 (9:00~17:00) 宮崎公立大学地域研究センター

時

代と社会を見つめ、一貫して傍観者ではない立場で、作品を発表し続けてきたアーティスト富山妙子さん。炭鉱、アジア、第三世界、女性など、富山さんの作品は、戦中・戦後を、くぐりぬけた一人の女性として、時代の姿をゆがめることなく証言し続けてきたアートだと言えます。

3.11 後、富山さんは『震災と原発』シリーズを発表しました。このシリーズの絵に高橋悠治さんの音楽を付けた、DVD『海からの黙示』(絵画と音楽)を上映します。その後、「私の戦中・戦後史、そして福島」と題し、富山さんに、二人の同志 — 坂元ひろ子— 一橋大学特任教授(中国近現代思想文化史)と林弘子宮崎公立大学学長(労働法/弁護士)を対話者に、お話しいただきます。絵画や音楽を味わいながら対話を行い、多くのみなさまとともに、アジアや世界の隣人たちとともにあり、また、個人が尊厳を持って生きることのできる未来を展望したいと思います。



講師 富山 妙子

画家/アーティスト。神戸生まれ。少女時代を旧満洲、大連・ハルビンで過ごす。ハルビン女学校卒、女子美術専門学校(現・女子美術大学)中退。戦時体験を踏まえ、1950年代から、画家の社会的参加として、筑豊など炭鉱や鉱山、ラテン・アメリカや広くアジアを回って女性とアジアの視座から西洋中心のアートのあり方を問い、70年代を通じて、韓国の詩人金芝河・光州事件、日本内外での戦時暴力の問題を国際的に問いかける作品を次々に発表。1976年から自主制作のための火種工房を主宰、現代音楽家・ピアニスト高橋悠治との共同製作も始めた。現代史に傍観者でない立場での創作・文筆活動を行う。絵のシリーズを映像化し国内外で展覧・上映会が行われている。

〈作品・著作〉

映像：「はじけ鳳仙花・わが朝鮮」(土本典昭監督)、「ハルビン・20世紀のレクイエム」(火種工房)

著作：『深夜—金芝河・富山妙子詩画集』鄭敬謨訳(土曜美術社1976年)、画集とDVD『蛭子と傀儡子旅芸人の物語』(現代企画室・2009年)、『アジアを抱く—画家人生 記憶と夢』(岩波書店・2009年)、辛淑玉との共著『〈男文化〉よ、さらば 植民地、戦争、原発を語る』岩波ブックレット(岩波書店・2013年)ほか

近年の主な展覧会：『大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ「富山妙子全仕事展」』2009年、「富山妙子・記憶のコラージュ」ノースウェスタン大学(USA)2004年ほか

対話者

坂元 ひろ子

一橋大学特任教授。専門：中国近現代思想文化研究、ジェンダー研究

大阪生まれ。「鹿児島二世」。一橋大学社会学部卒業。辞典編纂所勤務を経て、東京大学大学院人文科学研究科中国哲学専攻修士課程・博士課程修了。北京大学への留学、ハーバード大学客員研究員、IIAS(アムステルダム大学&ライデン大学)客員研究員などを歴任。山口大学教養部助教授、東京都立大学人文学部助教授、一橋大学社会学部教授、一橋大学大学院社会学部教授を経て、2014年4月より現職。

主要著書に、『モダンガールと植民地的近代 東アジアにおける帝国・資本・ジェンダー』(岩波書店・2010年)、『中国民族主義の神話—人種・身体・ジェンダー』(岩波書店・2004年)、『アジア新世紀』(岩波書店2002~03年)、『スピヴァク、日本で語る』(みすず書房・2009年)、『沖国大がアメリカに占領された日』(青土社・2005年)ほか、著書編著多数。連続ティーチ・イン沖縄実行委員。

林 弘子

宮崎公立大学学長/弁護士。専門：労働法
福岡生まれ。九州大学法学部卒業。九州大学法学部法学研究科修士課程修了、米チュレーン大学ロースクール卒業・LLM(Masters of Law)、米イェール大学ロースクール(フルブライト研究員)、米コーネル大学労使関係スクール(ACLS研究員)、米ニューヨーク大学ロースクール・コロンビア大学ロースクール(フルブライト研究員)、2003年弁護士登録(福岡県弁護士会)、米ハワイ大学ロースクール客員教授。福岡大学法学部・同大学院法学研究科教授・同法科大学院兼任教授(労働法担当)を経て、2013年4月より現職。

主要著書に、『労働法(第2版)』(法律文化社・2014年)、ILO『衡平の促進：性中立な職務評価による同一賃金—段階的ガイドブック』(翻訳—一灯社・2014年)、「ひとり親世帯と社会保障」新・社会保障講座・第3巻(法律文化社・2012年)、「男女同一賃金とジェンダー」講座ジェンダーと法・第2巻(日本加除出版・2012年)ほか、著書編著多数。

渡邊 英理

宮崎公立大学人文学部准教授。
専門：近現代日本語文学、ポストコロナル文学研究。学術博士(東京大学)
熊本県菊池市生まれ、鹿児島育ち(霧島市、鹿児島市)。鹿児島県立鶴丸高校卒業。お茶の水女子大学卒業。出版社勤務などを経て、東京大学大学院に進学。同大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得後退学。2012年同大学院同研究科にて博士号取得。中国・天津外国語大学外籍教授、三重大学客員准教授(三重大学と天津師範大学との日中協同教育事業に従事)等を経て、2012年4月より、現職。

主要著書に、『幻想文学、近代の魔界へ』(青弓社・2006年)、『日本語 文章・文体・表現辞典』(朝倉書店・2011年)ほか、『現代思想』『ユリイカ』『図書新聞』等に現代文学、文化に関する批評も執筆。近日、『中上健次集』月報(インスクリプト社)、および、単著「中上健次論」(仮題)を刊行予定。連続ティーチ・イン沖縄実行委員。

問い合わせ・参加申し込み

電話・FAX・メールにて参加を受け付けています。申し込みの際、住所・氏名・電話番号・人数等をお知らせください。

FAX : 0985-20-4773 E-MAIL : mmu.bungakucafe@gmail.com

電話 : 0985-20-4772 (9:00~17:00) 宮崎公立大学地域研究センター